

泉佐野市民の人権に関する意識調査結果の概要について

1. 調査の目的

泉佐野市民の様々な人権問題に関する意識の現状や傾向を把握し、人権問題の解決に向けた施策を総合的に推進するための基本方針や実施計画の策定のほか、市民への人権に関する教育・啓発のための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の方法

(1) 調査項目（46問＋自由記述・10テーマ）

①回答者の属性 ②人権に関する考え方 ③女性の人権について ④子どもの人権について ⑤高齢者の人権について ⑥障害者（児）の人権について ⑦同和問題について ⑧アイヌの人々の人権について ⑨外国人の人権について ⑩HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権について ⑪情報化社会、インターネット・SNSに関わる人権問題について ⑫その他の様々な人権問題について ⑬市の人権啓発に関する取り組みについて ⑭自由記述

(2) 調査対象・対象者数・抽出方法

泉佐野市民で満18歳以上の男女3,000人

18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、
70歳以上の6階層

5中学校区で均等に抽出

(3) 調査期間・調査方法

令和3年10月12日～11月9日

令和3年10月12日、調査票を調査対象者に郵送

令和3年10月25日、はがきにより回答のお礼と再度協力を依頼

3. 回収結果

	対象者数	未着数	回収数	有効回答数	有効回答率
R3年度	3,000	10	987	987	32.9%
H27年度	3,000	27	935	926	30.9%